



訪問診療・往診専門
医療法人 **かさまつ在宅クリニック**



2025年～阪神・淡路大震災から30年～

阪神・淡路大震災の年に医師として歩みはじめました。2025年は、人生の振り返りや余生について考える年になりそうです。さて、大変遅くなりましたが、アンケート結果についてご報告申し上げます。皆様のペースにあわせながら、当クリニックでもデジタル化をすすめてまいります。

【デジタル化に関するアンケート結果について】

デジタル化に関するアンケートについてご報告させていただきます。御協力ありがとうございました。アンケート期間が長期間になりましたので、アンケート回答時のお考えと御理解いただければと存じます。

Q1、オンライン資格確認についてご存じですか？

はい	11名 (15%)	【コメント】 在宅においてもオンライン資格確認が可能となっています。 訪問の際に専用のスマホを持ち込んで読み取ります。
いいえ	58名 (82%)	
無回答	2名 (3%)	

Q2、医療費の支払いについて、カード決済等が可能であれば希望しますか？

はい	30名 (42%)	【コメント】 希望者が多くなれば、当クリニックでも検討してまいります。
いいえ	41名 (58%)	

Q3、かさまつ通信（3か月毎発行）は、メールで受け取ることも可能です。メールで受け取りたいですか？

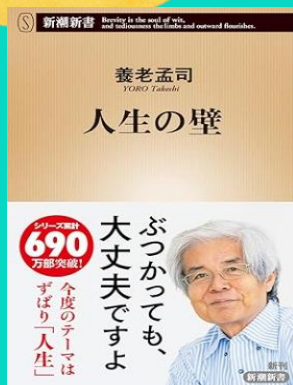
はい	20名 (28%)	【コメント】 当クリニックホームページでもかさまつ通信を読むことができます。
いいえ	51名 (72%)	

Q4、デジタル化に関するご意見があればお書きください（一部のみ掲載）。

- ・長時間通信障害が起きると困る。
- ・請求書、診療明細書もメール・LINE でいいと思います。
- ・高齢のため出来るだけアナログ（紙面）でお願いします。



本のご紹介



養老孟司先生の壁シリーズから「人生の壁」です。息詰まる現代人に、多角的な視点から、養老先生が人生について解説してくれます。

最後の一段落は、著書の内容をサマライズしてくれます。『精一杯、本気で生きる。そして自分にとって居心地の良い状況を見出していく。そういう日々を過ごすことから始めてみるのがいいのではないのでしょうか。』読み終えたときに、なぜか肩の力が抜けて、軽くなった感じがする一冊ではないのでしょうか。
(院長 笠松 哲司)



訪問診療・往診専門
医療法人

かさまつ在宅クリニック



暦の上では立春を過ぎましたが、今期いちばん最強で最長の大寒波が襲来しています。SNS や Google が「〇年前の今日」という思い出をお知らせしてくれるのですが、ちょうど今頃の写真は、大雪の中こどもの送り迎えをしていたものなどがちょこちょこ出てきます。何年か前は、大雪の日に訪問に出かけて、北島まで2時間ぐらいかかったことがありました。そう思うと、市内で雪が積もることは少なくなったように思います。ただ、地球温暖化の影響で今後はドカ雪が増えていくそうです。私も50年ちょっと生きていますが、穏やかな四季のあった子供の頃が懐かしく思える今日この頃です。

さて、昨年末、私は突発性難聴になりました。12月中旬ごろから、Zoom会議の際にイヤホンの音が片方だけ聞こえない？と違和感があったのですが、年末に車のラジオの音が半分聞こえなくなりました。イヤホンもZoomの調子も悪いし、車のラジオも壊れてるんちゃう？とと思っていましたが、いよいよ耳鳴りや目眩も出てきて、お正月明けに耳鼻科を受診して検査を受けたら、見事に聴力が落ちていました。ステロイドを処方され、1週間ほど内服して聴力は戻りましたが、耳鳴りは最近まで1か月ほど続いていました。

私は普段あまり薬をのみませんが、ステロイドはとても良く効きました。でも、ほんの数日のんだだけで副作用も出てしまい、血圧が上がったり夜寝付けなくなったり、運転中の視野狭窄も気になりました。これらはステロイドが終了すると消えましたが、よく効く薬は怖い薬でもあるなぁと改めて実感したのでした。

50代になり身体の不調も出てくるようになって、自分が治療される側になると、いろんな「不都合なこと」が理解できます。若いときはわからなかったけれど、自分の身体もメンテナンスが必要ということですね。そろそろ自分の心身のご機嫌も取りつつ、毎日を健康に過ごせるよう、ちゃんと睡眠をとるところから(笑)見直したいと思っています。(2/7 小児科 笠松 由華)



岡山県・瀬戸内市立美術館へ、96歳の木村セツさんの新聞ちぎり絵原画展を観に行ってきました。新聞のカラー広告をちぎって制作された、ポストカードサイズのとても繊細な作品です。小さな港町の小さな美術館でしたが、大勢の方が熱心に見入っていました。



〒770-8054 徳島市山城西4丁目 13-3
HP : <http://www.kasamatsu-zaitaku.com>

TEL : 088-679-6393
FAX : 088-679-6394





訪問診療・往診専門
医療法人

かさまつ在宅クリニック



昨年のある時期から、薬を定期で服用するようになりました。職業柄いつも説明する立場で、自分は飲み忘れなんてしないだろうと思っていました。いざ服用が長期化し、日常となるとうっかり忘れてたり、また飲んだかどうかの記憶があいまいになることがあり……。そこで、100円ショップで曜日ごとのお薬ケースを購入し、薬をセッティングしてみました。今のところ順調です。

こういった形で処方薬が手元にあるのがベストなのか、いつも考えています。薬の内容や処方医の考え、ご本人やケアされる方の希望、薬局からの提案を元に……。と最終の形は個々で異なりますが、こういったセッティングの有用性を今更ながらに身をもって実感しました。

医療的ケアには様々な物品が必要で、既製品と共に身近なもので皆さん創意工夫をされているとお聞きします。最近100円ショップに行くと、これはこんな用途で使えないかな?と想像しています。何かいいお知恵があれば、教えてください。(薬剤師 宮田)



先日、父の急な体調不良で高齢の両親だけがかかりつけ医を受診しました。担当の先生や看護師さんに大変お世話になりました。後日受診の時に礼をお伝えすると、「みんな年を取るとできないことも増えます。あなたも甘えたらいいんです。これが私たちの仕事ですから。」と先生が笑顔で仰いました。たくさんの方々に来ていただきながら生きていけることに感謝しています。



診察の帰りに近くの八幡さんにお参りしました。時々、猿や白鷺も境内に来ているのどかなところですよ。おみくじを引くと『元気いっぱいいつとめましょう。今日という日は再び来ない。寝ても覚めてもにこにこと。』とありました。「今日はなんて素晴らしい日だ!」と言って、にこにこしている父にちょっと笑ってしまいました。寒いときですのでみなさんもお体ご自愛ください。(看護師 岡)

先日、以前から機会があれば参加したいと思っていた、【心肺蘇生講習会】を受講してきました。胸骨圧迫(心臓マッサージ)の実技では、押す強さ・速さ・深さの難しさを実感し、想像以上に大変なので、交代しながら続けるために一人でも多くの人の協力が必要なのだと知りました。AED(自動体外式除細動器)は、日頃から設置場所の確認を意識しておきたいと思いました。

思いがけず緊急の事態に遭遇した時に、「してはいけないことは何もしないこと」だと教わり、躊躇せず一歩行動できるように、繰り返し訓練することが大事なのだと感じています。(事務 西岡)

